

月経痛と子宮内膜症

月経は女性にとって憂鬱なものですが、痛みが非常に強く、動くことができなかつたり寝込んでしまうような場合は「子宮内膜症」かもしれません。「誰にでもあることだから」と我慢しないで早めに専門医の診断を受けることが大切です。



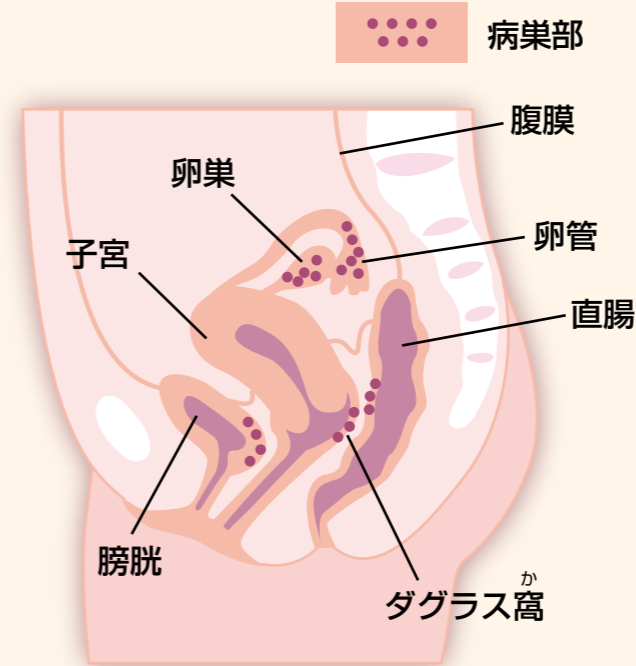
子宮内膜症とは

●子宮内膜が子宮以外で増殖する病気
「子宮内膜」とは子宮の内側を覆う粘膜組織で、妊娠の際、受精卵が着床するための「ベッド」の役割をしています。この子宮内膜組織が、子宮以外の場所（卵巣や腹膜など）で増殖・剥離を繰り返すのが「子宮内膜症」です。
本来、子宮の内側からはがれ落ちた子宮内膜は月経血として膣から身体の外に出て行きますが、子宮以外の場所

で増殖した子宮内膜組織は排出されずに腹腔内に留まり、炎症や痛み、癒着などの原因になります。

●子宮内膜症は、なぜ起るの？
子宮内膜がなぜ子宮以外のところに発生するのか、その原因ははっきりしていません。月経血が卵管からお腹の中に逆流し、そのまま留まってしまふという説が有力視されています。その他、何らかのきっかけで腹膜が子宮内膜に変化し、子宮内膜症が発生するという説もあります。

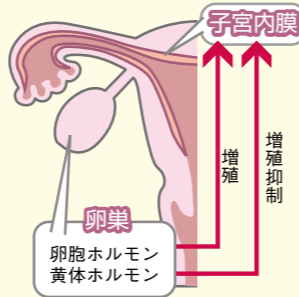
子宮内膜症の発生しやすい場所



子宮内膜症が発生しやすい場所は、直腸と子宮のすき間(ダグラス窩)、膀胱と子宮の間(膀胱子宮窩)、卵巣、卵管、子宮筋層、骨盤腹膜などで、まれに肺や胸膜に発生することもある。

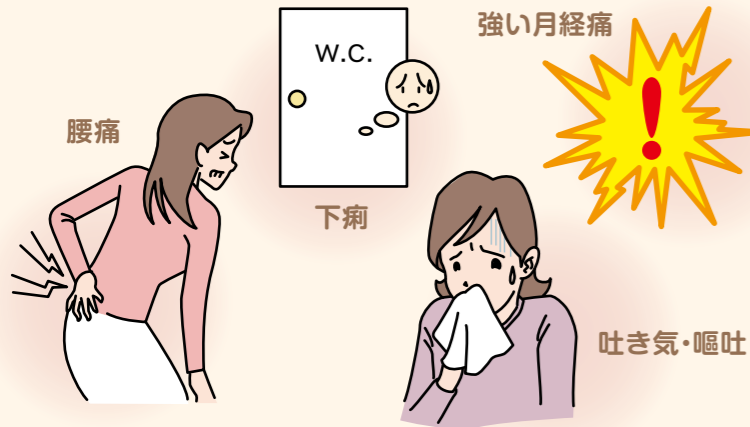
子宮内膜症と女性ホルモン

子宮内膜は、卵巣でつくられる女性ホルモンによってコントロールされています。女性ホルモンの一つである「卵胞ホルモン(エストロゲン)」が卵巣から分泌されると、妊娠の準備のために子宮内膜が増殖して厚くなります。そして排卵が起こると、今度は「黄体ホルモン(プロゲステロン)」が分泌されて子宮内膜の増殖が抑えられます。子宮内膜症の組織にも、これらの女性ホルモンが作用しています。



子宮内膜症の症状は？

●強い月経痛が特徴
多くは強い月経痛を伴います。月経痛は回数を重ねることにひどくなるのが特徴。以前はそうでもなかったのに、月経痛がだんだんひどくなってきたという場合は要注意です。吐き気や嘔吐、下痢などの消化器症状、腰痛、性交痛、排尿痛、過多月経や不正出血(月経以外の出血)が見られる場合もあります。なお、子宮内膜症では妊娠しにくいいため、不妊症の治療中に子宮内膜症が発見されることもあります。



子宮内膜症の検査

●受診が勧められる場合とは
月経痛の痛みの感じ方には個人差があるため一概には言えませんが、生理のたびに寝込んだり、仕事を休まざるを得ない人、鎮痛剤をたくさん飲まないと我慢できない人は、一度婦人科を受診しましょう。

●問診、内診、超音波検査などを実施
検査では、まず問診が行われます。

どのような症状がいつ頃始まったかなど、症状に関することのほかに、月経周期や最終月経の日付なども聞かれます。また、内診により、子宮や卵巣の大きさ、子宮を動かしたときの痛みの有無や程度などを調べます。
その他、超音波検査、CT検査、MRI検査などで子宮や卵巣の状態を見ます。血液中の腫瘍マーカーで卵巣がんの可能性がないかどうかを調べることもあります。ただし、最終的な確定診断は、直接お腹の中を見る腹腔鏡検査が必要となります。

子宮内膜症の治療

●治療の基本は、薬物療法と手術療法
治療には薬物療法と手術療法があります。薬物療法は、鎮痛剤などで症状を抑える「対症療法」と、ホルモン剤で月経を起こさせないようにしたり、卵胞ホルモンの作用を抑えて病巣を小さくする「ホルモン療法」に大別されます。手術療法は、子宮を摘出するか温存するかが選択のポイントになります。

注意が必要な「卵巣チョコレート嚢胞」

子宮内膜症は本来、良性の病気ですが、卵巣の深いところに血液が溜まる「卵巣チョコレート嚢胞」は注意が必要です。放置していると、月経のたびに増殖と出血を繰り返して大きくなった嚢胞が破裂し、激しい痛みを起こすことがあります。また、卵巣チョコレート嚢胞があると、希に卵巣がんが発生することがあるといわれます。卵巣チョコレート嚢胞があるとわかったら、定期検査を受けるようにしましょう。



薬物療法の種類と特徴

種類	特徴
対症療法	●鎮痛薬・漢方薬などを使って症状を改善する。 ●内膜症が進行すると、薬が効かなくなることある。
ホルモン療法	●ホルモン剤により、月経を起こさせないようにしたり、卵胞ホルモンの作用を抑えて病巣を縮小させる。 ●治療中は妊娠できない。妊娠・出産を希望する場合はいったん治療を止め、必要があれば出産後に治療を再開する。

手術の種類と特徴

種類	特徴
温存手術	●病巣の部分のみを取り除いたり、癒着を剥がしたりする。 ●手術後の妊娠・出産が可能。 ●腹腔鏡を使って行われることも多い。
根治手術	●開腹して子宮と卵巣を全て摘出する。 ●根治が可能だが、手術後に更年期障害のような症状が現れる。 ●主に重症の患者や閉経に近い年齢の人などに行われる。